

## ジュニア部門／彫刻

### 審査評

彫刻は特に実在の作品から受ける印象や空間に置かれた存在感を重視しなければなりません。今回は出品された作品の写真からそれらをできる限り感じ取り、作品について理解を深め、審査員でしっかりと協議して審査しました。

出品数は3点でしたが、時間をかけてつくったことがよく分かる作品ばかりでした。「いのちがいっぱい」は、海の中を泳ぐ数匹の魚を表現し、魚の動きと海水の流れを感じる作品でした。

「森の王者」は、立派な角を持つカブトムシ1匹を大きくつくり、着彩にもこだわった作品でした。

特選の「HAPPY GRAPES」は、新聞紙や毛糸、切手、ボタンなど、様々な素材でブドウを表現した作品でした。一粒ずつ素材を変えて、蔓の<sup>つる</sup>部分にもこだわり、配色を工夫して精密に注意深くつくられていました。多くの時間を費やしたことでしょう。台座も含めて完成度の高い作品でした。

(安田女子大学短期大学保育科 藤原 逸樹)